

居住誘導区域内の災害に関する防災対策（防災指針案）

1 防災対策検討の背景と目的

近年本市では、令和元年東日本台風をはじめとする激甚な水災害によって多くの人的・住家被害が発生し、今後も気候変動の影響による降雨量の増加や海面水位の上昇により、さらに水災害が頻発化・激甚化することが懸念されている。

また、国では防災まちづくりの推進を図るため、大震災の被害を教訓とした都市火災対策に加え、平成23年の東日本大震災による津波被害や、頻発するゲリラ豪雨を踏まえ、平成25年に「防災都市づくり計画策定指針」を定めている。この中で、都市計画の目的として自然災害による被害の抑止・軽減を明確に位置づけること、防災部局との連携により、災害リスクの評価に基づく都市計画の策定や市街地整備を進めていくこと等が示されている。

改正都市再生特別措置法（令和2年6月10日公布）において、安全でコンパクトなまちづくりを推進するため、コンパクトシティを進める計画である立地適正化計画に、居住を誘導する区域における防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが位置づけられた。

本立地適正化計画においても、（第●章にて）災害リスクの高い地域を新たな立地抑制を図るため居住誘導区域からの原則除外を徹底するとともに、居住誘導区域に残存する災害リスクに対して、計画的かつ着実に必要な防災・減災対策に取り組むため「居住誘導区域内の災害に関する防災対策（防災指針）」を定める。

防災指針の構成

1. 防災対策の背景と目的
2. 地域における災害リスクの分析・・・3
3. 災害リスク別の課題抽出・・・14
4. 防災まちづくりの取組方針・・・31
5. 防災まちづくりの具体的な取組・実施体制・スケジュール・・・39

2 地域における災害リスク分析

(1) 災害ハザードエリアと居住誘導区域

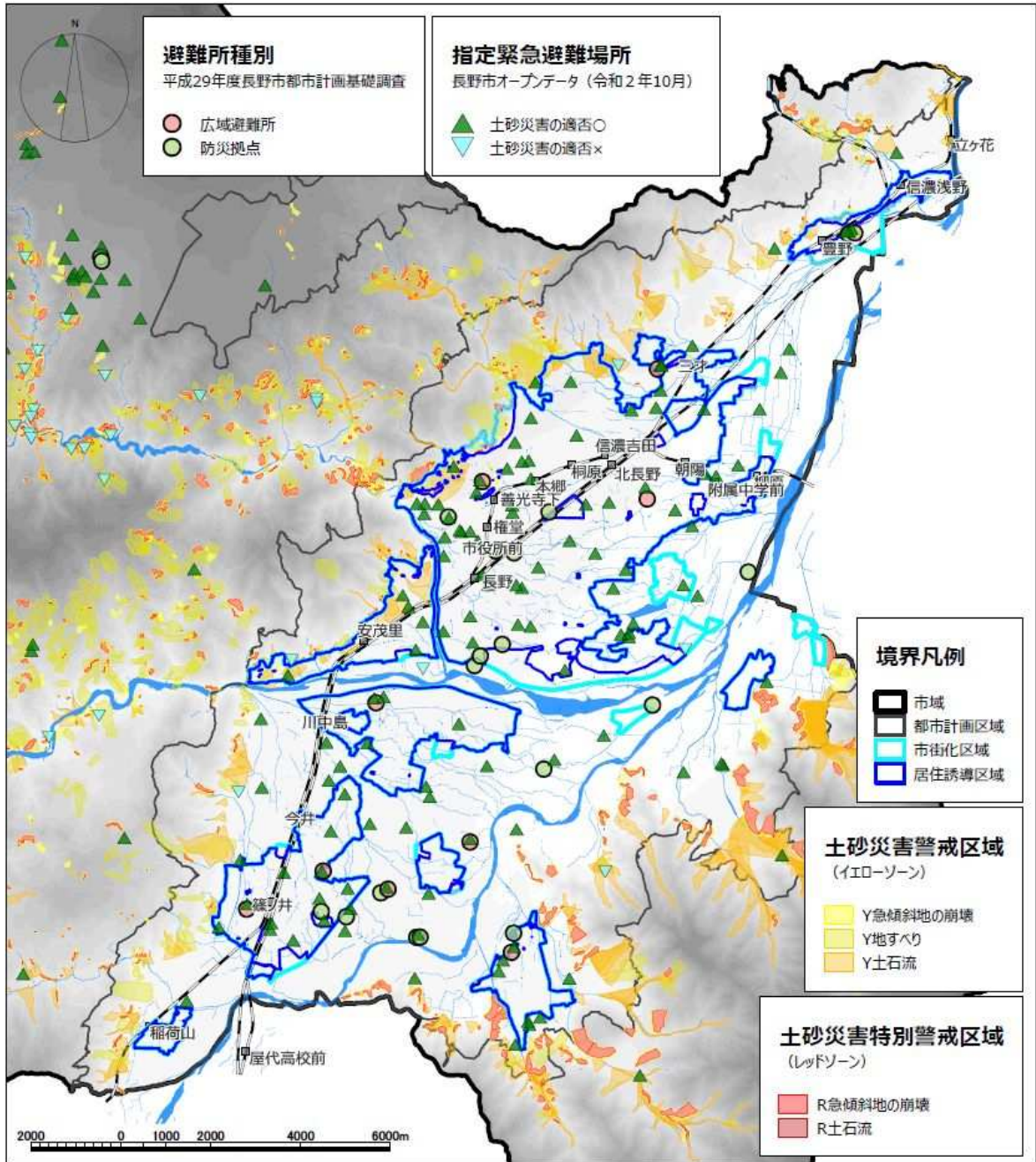
居住誘導区域内の災害ハザードエリアとリスク分析の視点は下表に示すとおりである。

ハザードエリア	リスク分析の視点
地すべり防止区域	居住誘導区域から除外済
急傾斜地崩壊危険区域	居住誘導区域から除外済
土砂災害特別警戒区域	居住誘導区域から除外済
土砂災害警戒区域	逃げやすさ（避難場所徒歩圏内・外や防災訓練の頻度、等）の違い
津波災害特別警戒区域 津波災害警戒区域	本市での区域指定なし
災害危険区域	本市での区域指定なし
浸水想定区域 及び 氾濫流による建物倒壊等	想定規模降雨時別の浸水深に対応した垂直避難可否や、逃げやすさ（避難場所徒歩圏内・外や防災訓練の頻度、等）の違い
都市洪水想定区域・都市浸水想定区域 （特定都市河川浸水被害対策法）	本市での区域指定なし

次頁以降に、土砂災害および洪水の浸水被害についてリスク分析を行う。

長野市都市計画区域周辺の、土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定は下図の通り。

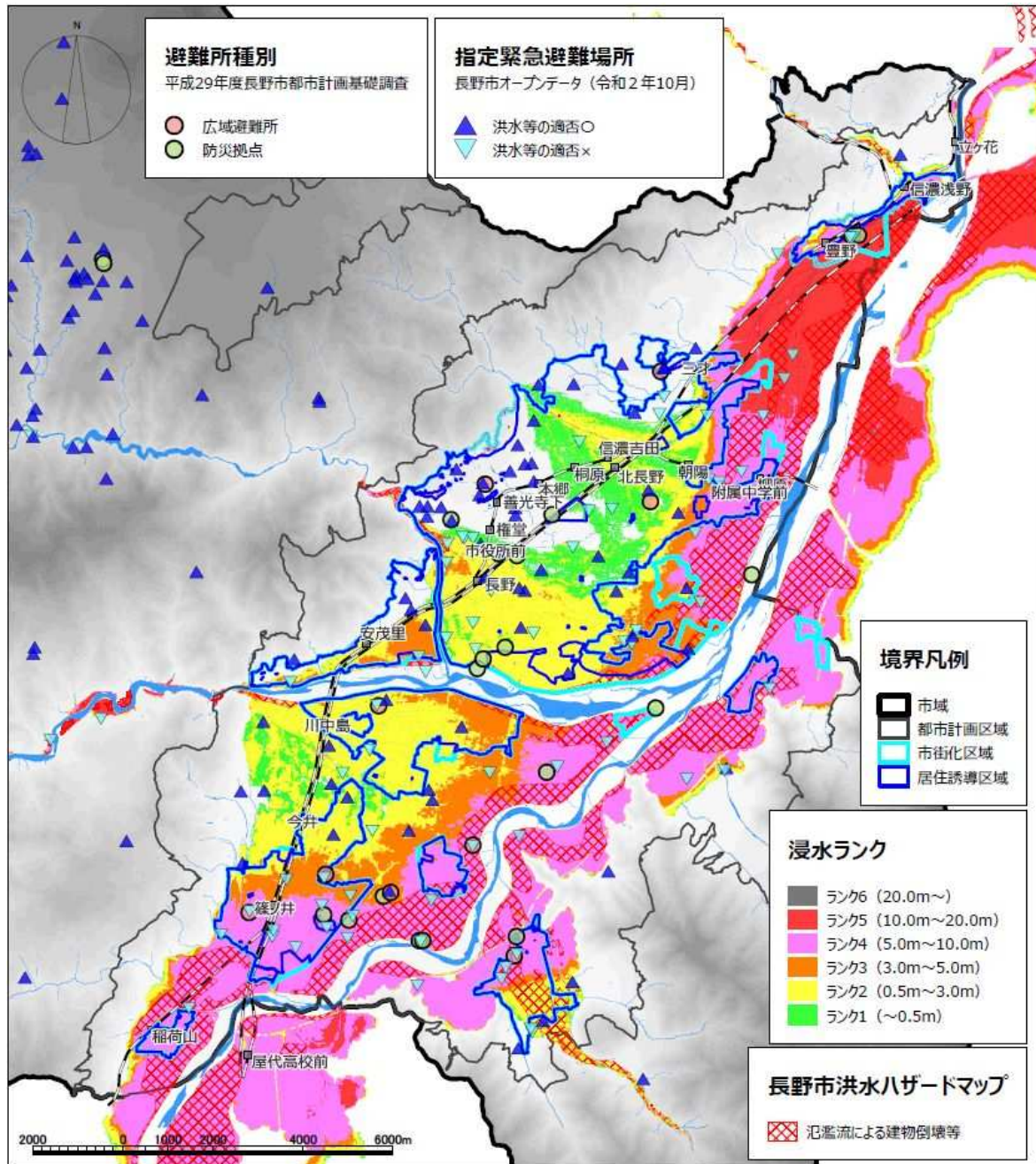
■ 土砂災害警戒区域・特別警戒区域



(出典：行政地図情報（長野市HPより）
平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成)

長野市都市計画区域周辺の、想定最大規模（L2）浸水想定区域および氾濫流による建物倒壊等区域は下図の通り。

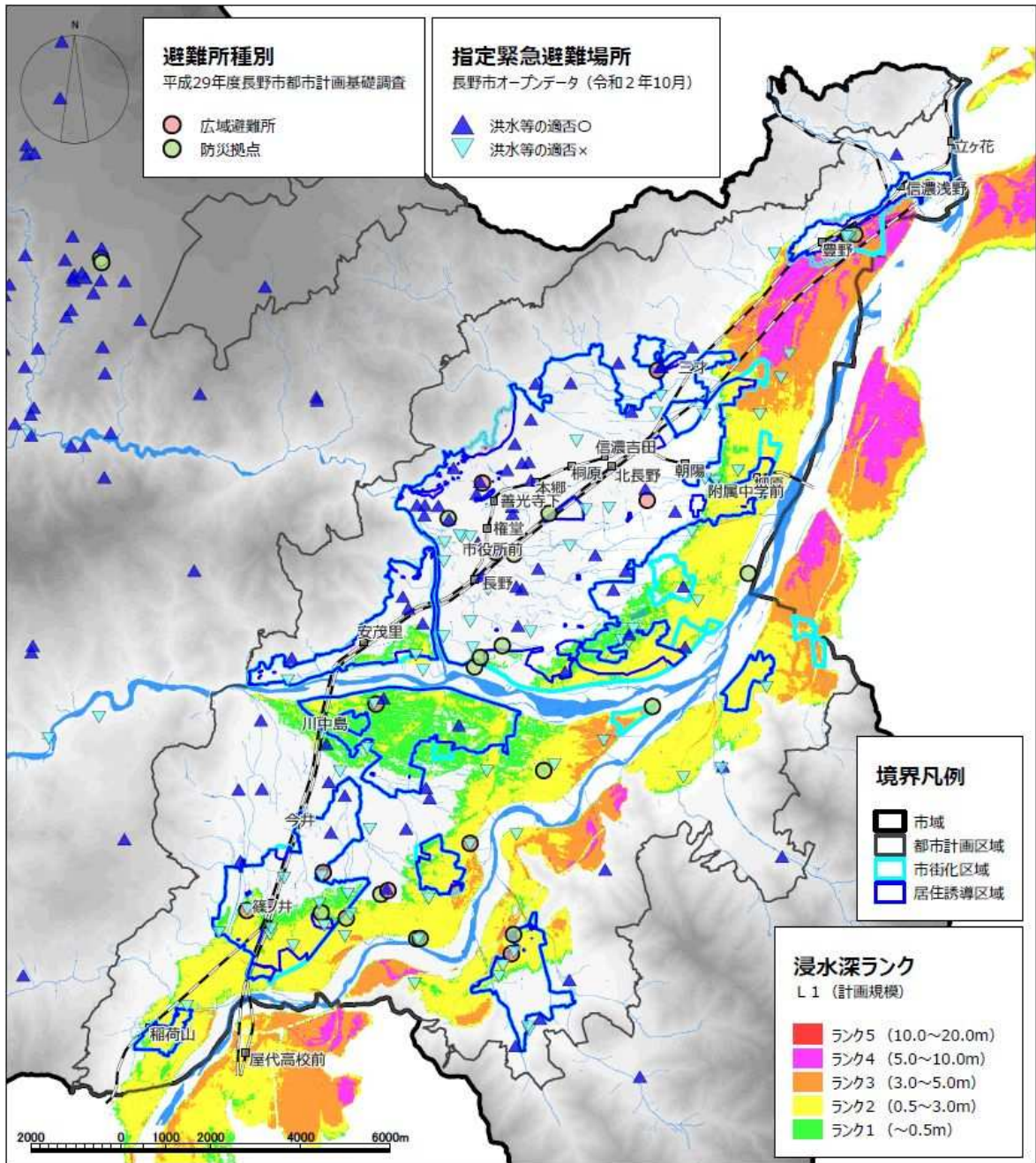
■ 想定最大規模（L2）浸水想定区域および氾濫流による建物倒壊等区域



（出典：長野市立地適正化計画の見直しに係る基礎調査
行政地図情報（長野市HPより）
平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成）

長野市都市計画区域周辺の、計画規模（L1）浸水想定区域は下図の通り。

■ 計画規模（L1）浸水想定区域



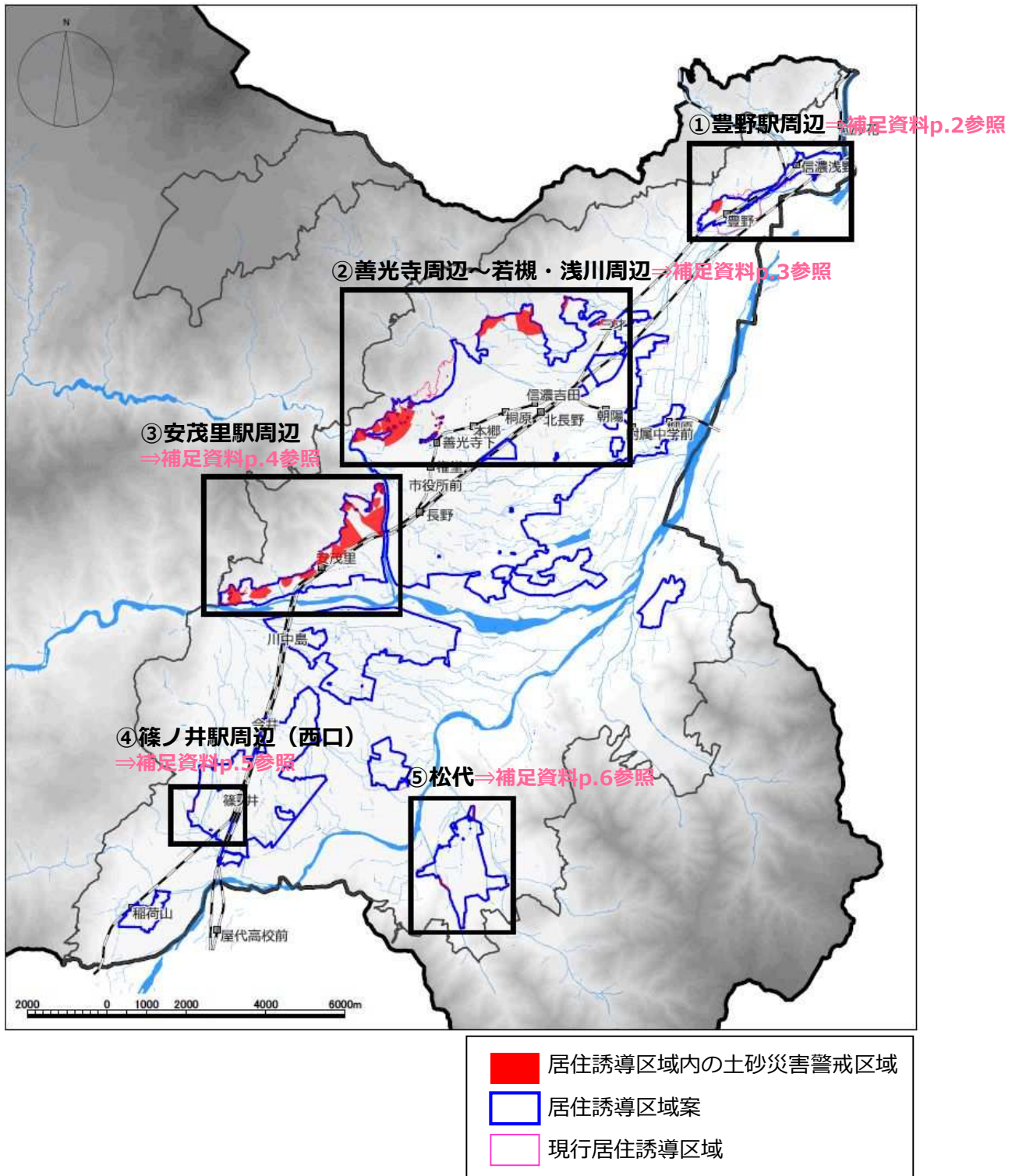
（出典：行政地図情報（長野市HPより）
平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成）

(2) エリア別の土砂災害リスク

○ 居住誘導区域内の土砂災害警戒区域

居住誘導区域内の土砂災害警戒区域（イエローゾーン）指定箇所は下記のとおりである。
下記①～⑤のエリア別に詳細を確認し、リスクの高いエリアを抽出した。

■ 居住誘導区域内の土砂災害警戒区域



(3) エリア別の洪水浸水リスク

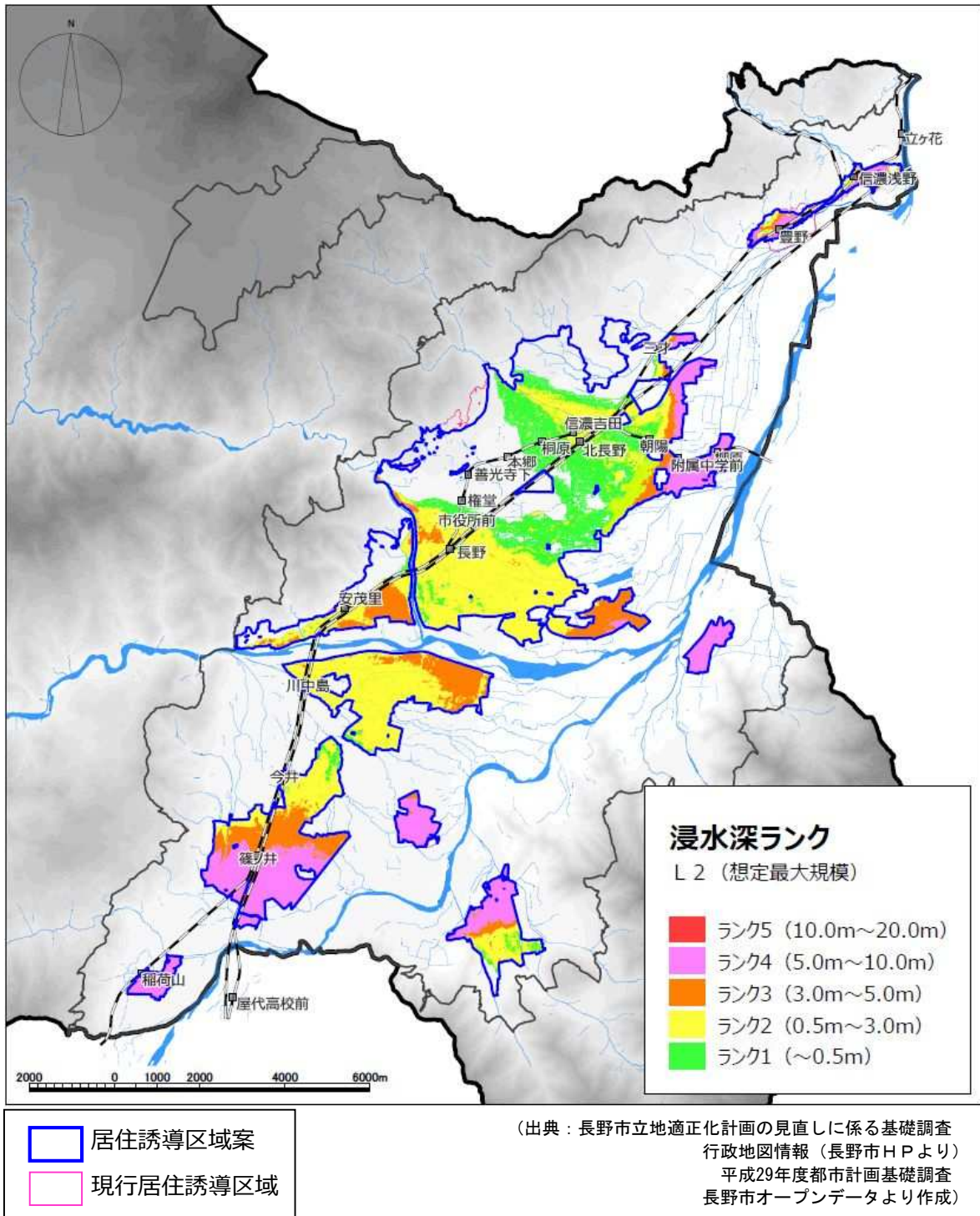
○ 居住誘導区域内の浸水想定区域および氾濫流による建物倒壊等

居住誘導区域内の洪水浸水リスク分析にあたっては、想定規模降雨時別の浸水深に対応した垂直避難可否や、逃げやすさ（避難場所徒歩圏内・外や防災訓練の頻度、等）による地域の特性の違いから課題の大きい箇所を抽出する。

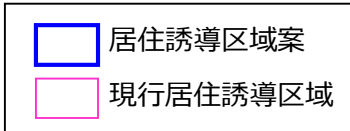
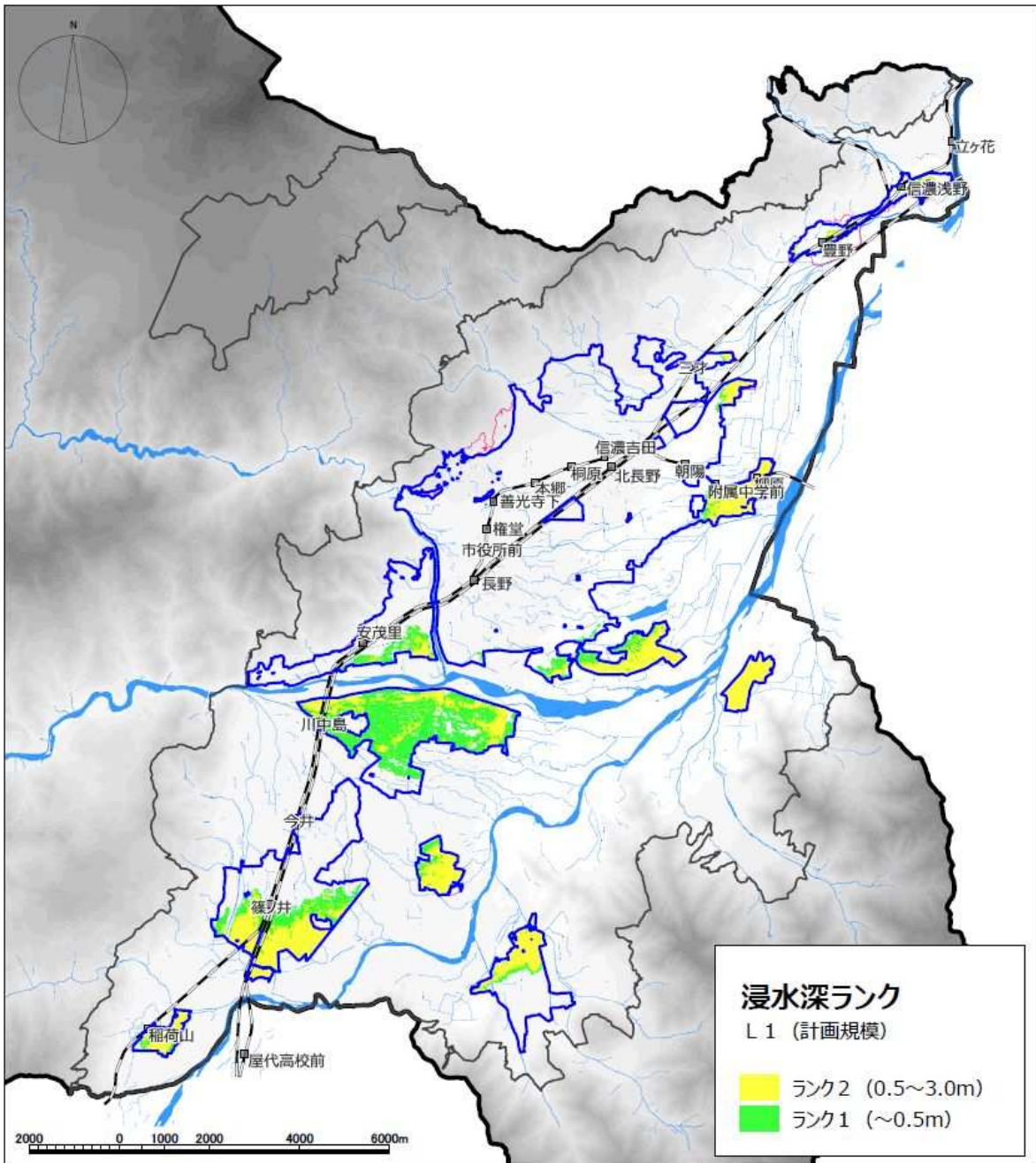
■ 浸水ランク別・浸水頻度別リスク分析の視点

浸水深	頻度	
	L 1 計画規模降雨 (おおむね100年に1回程度 起こる大雨)	L 2 想定最大規模降雨 (1000年に1回程度の降雨)
ランク2 (0.5m~3.0m)	▶ 被害の軽減が必要 (河川整備の強化等)	▶ リスク回避、避難確保が必要 (2階以上への垂直避難 または事前避難)
ランク3 (3.0m~5.0m)	▶ リスク回避が必要 ある程度の頻度で2階以上の浸水が 起こるため、積極的な居住の誘導を 行わない(誘導区域から除外)	▶ リスク回避、避難確保が必要 (3階以上への垂直避難 または事前避難)
ランク4以上 (5.0m~)		▶ リスク回避、避難確保が必要 事前避難(避難場所)

■ 居住誘導区域内の浸水想定区域（L2：想定最大規模）



■ 居住誘導区域内の浸水想定区域（L1：計画規模）



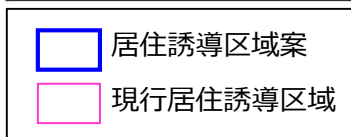
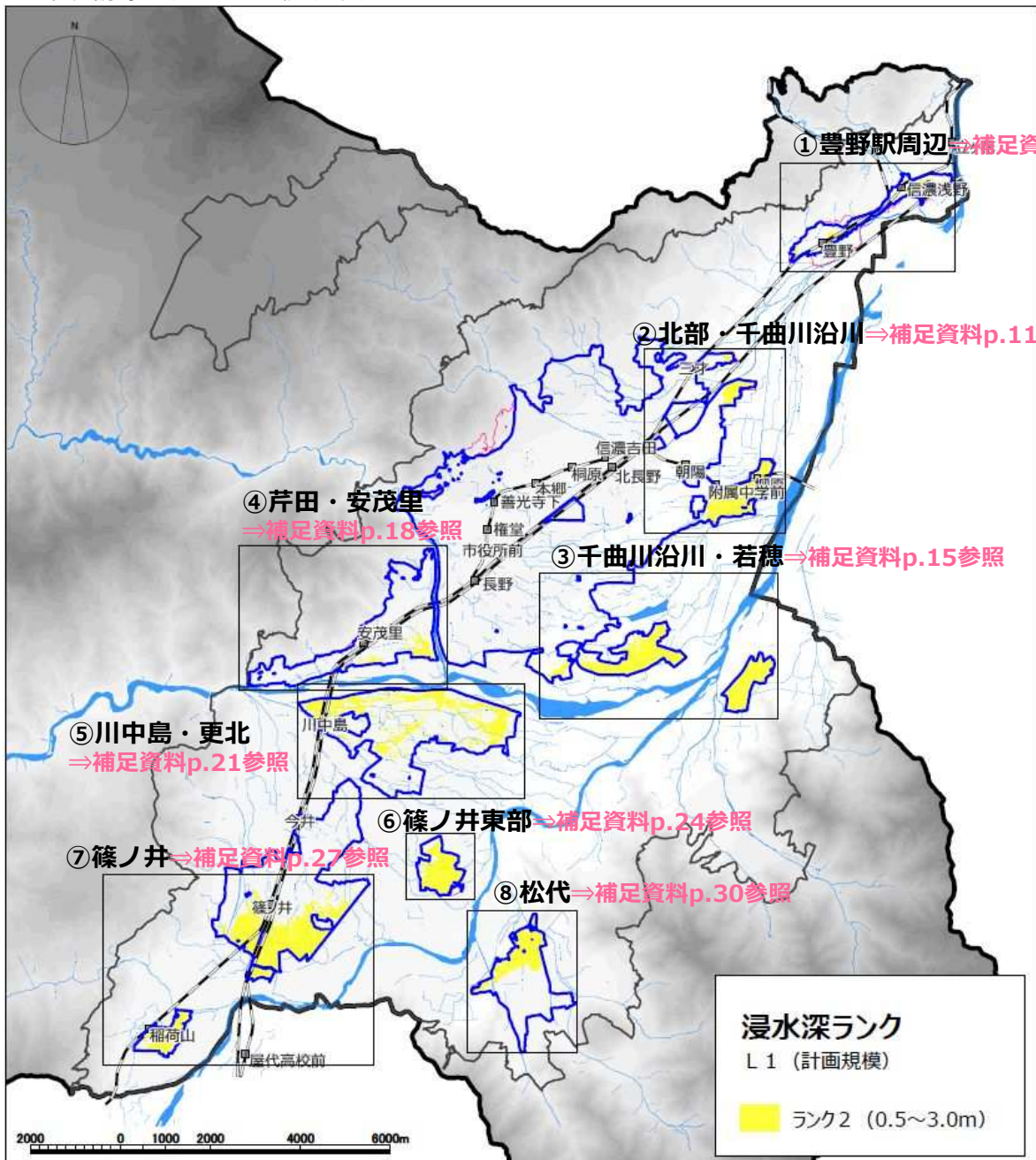
（出典：行政地図情報「L1（計画規模浸水想定）H28」
平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成）

○ L 1（計画規模降雨）時浸水ランク 2 以上

おおむね100年に1回程度起こる大雨時に、0.5m以上の浸水が予想される浸水深ランク 2以上の地域を対象に、課題を抽出する※。

なお、浸水深が0.5m（膝）以上になるとほとんどの人が避難困難となることより（国交省、関川水害H7による調査結果）、0.5mを基準とした。

■ 居住誘導区域内のL 1 浸水深ランク 2 以上エリア



（出典：行政地図情報「L1（計画規模浸水想定）H28」
平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成）

(4) 地震および大規模火災リスク

本市では、河川沿いの低地などで地盤が軟弱であり、さらに市街地の一部には木造住宅が密集している地区が見られ、地震時の建物被害や火災発生のおそれがある。また、中山間地域での土砂災害への対策や、都市部での集中豪雨による水路の氾濫対策など、安全・安心の確保に向けて効果的な防災・減災対策に取り組む必要がある。

3 災害リスク別課題抽出

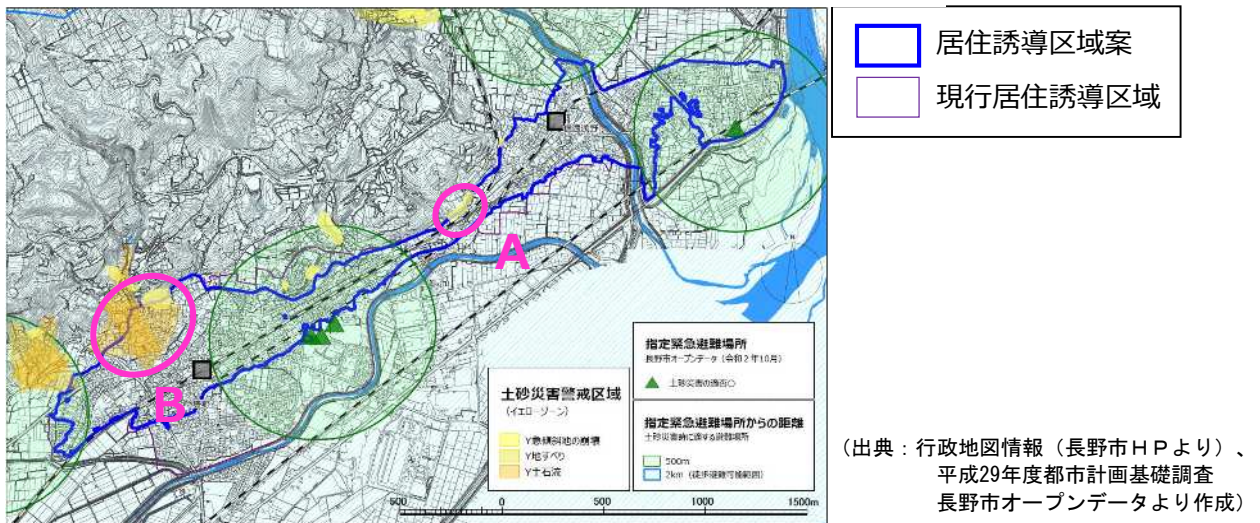
居住誘導区域内の災害リスクの高いエリアの課題を、災害リスク別に以下のとおり抽出した。

(1) 土砂災害

① 豊野駅周辺

土石流の発生および急傾斜地の崩壊のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図A・Bエリア）があり、避難に時間がかかる。

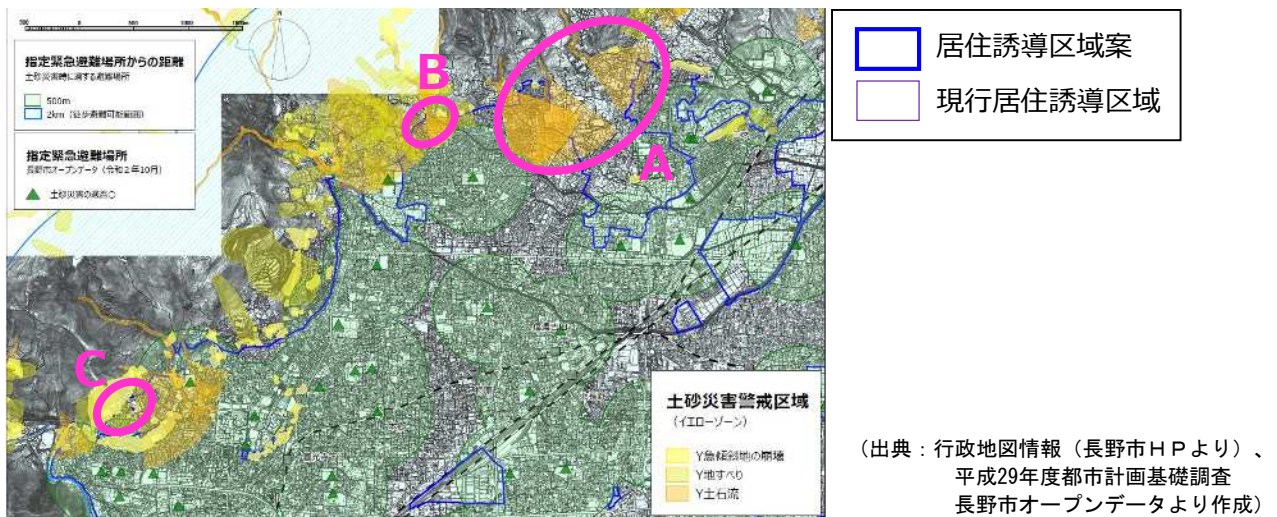
■ 豊野駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



② 善光寺周辺～若槻・浅川周辺

土石流と地すべりの発生および急傾斜地の崩壊のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図A～Cエリア）があり、避難に時間がかかる。

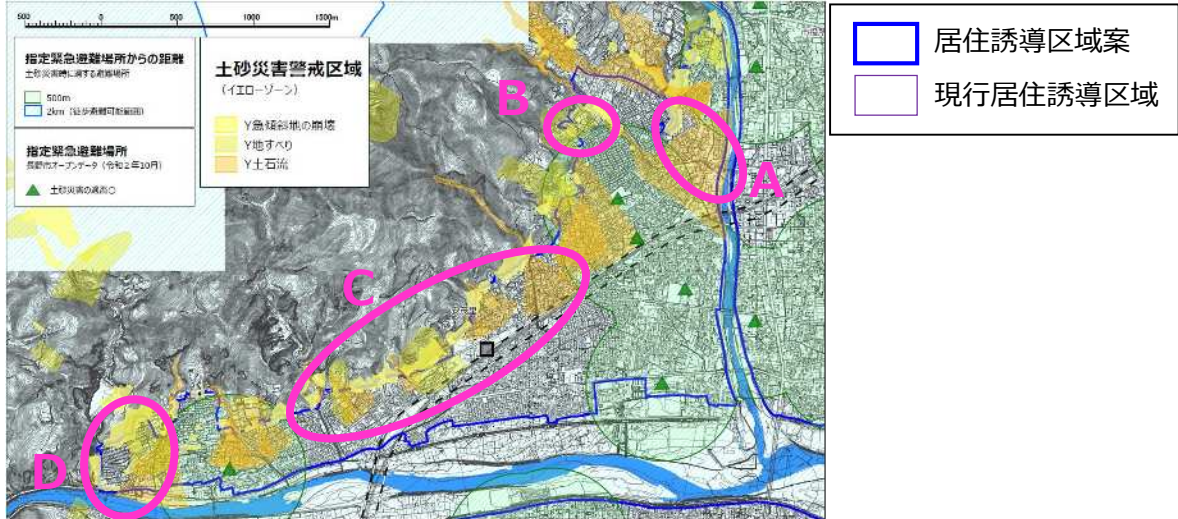
■ 善光寺周辺～若槻・浅川周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



③ 安茂里駅周辺

広範囲にわたって、土石流と地すべりの発生および急傾斜地の崩壊のおそれのある箇所があり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図A～Dエリア）があり、避難に時間がかかる。

■ 安茂里駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏

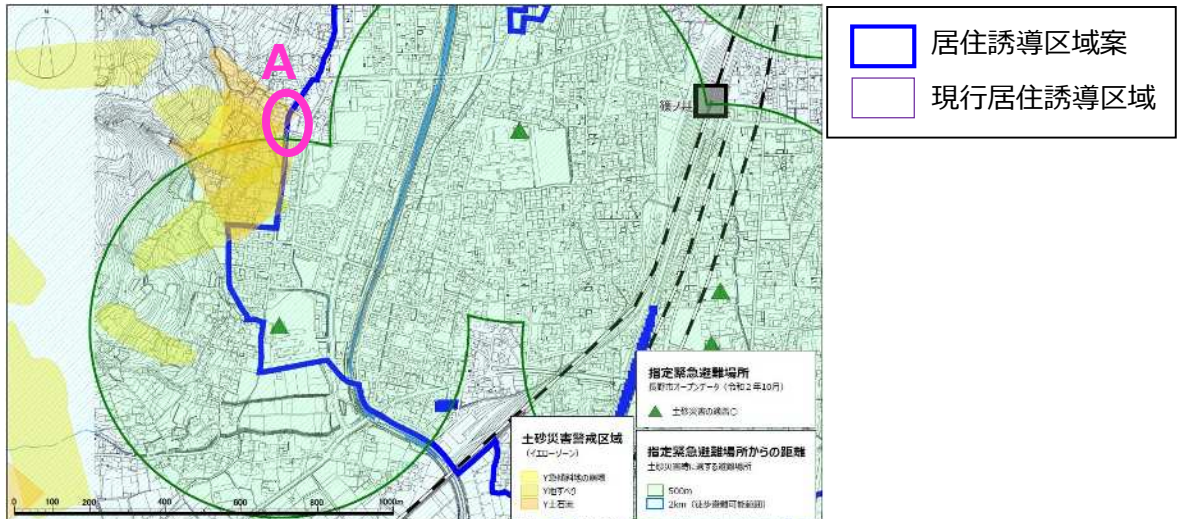


(出典：行政地図情報（長野市HPより）、平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成)

④ 篠ノ井駅周辺（西口）

居住誘導区域縁辺部のわずかなエリアにて、土石流と地すべりの発生のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図Aエリア）があり、避難に時間がかかる。。

■ 篠ノ井駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏

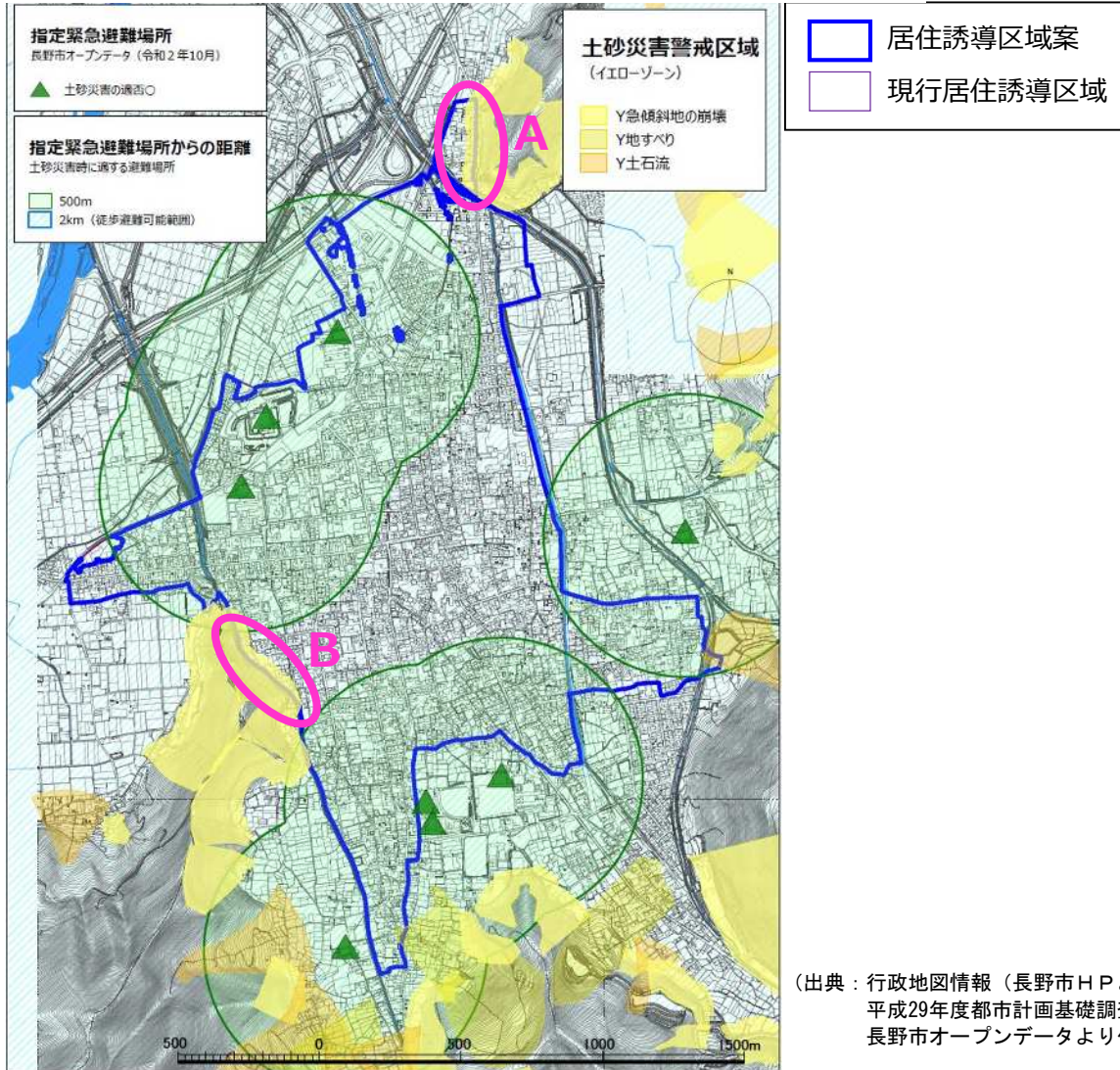


(出典：行政地図情報（長野市HPより）、平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成)

⑤ 松代


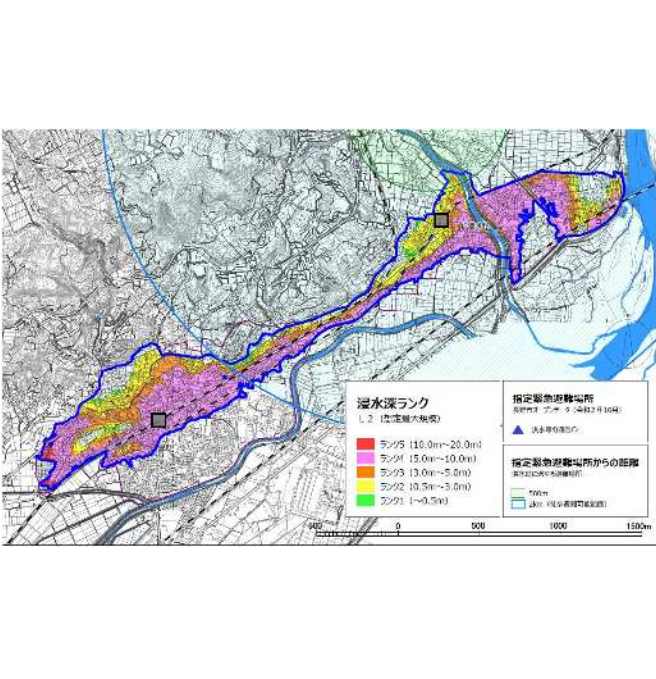
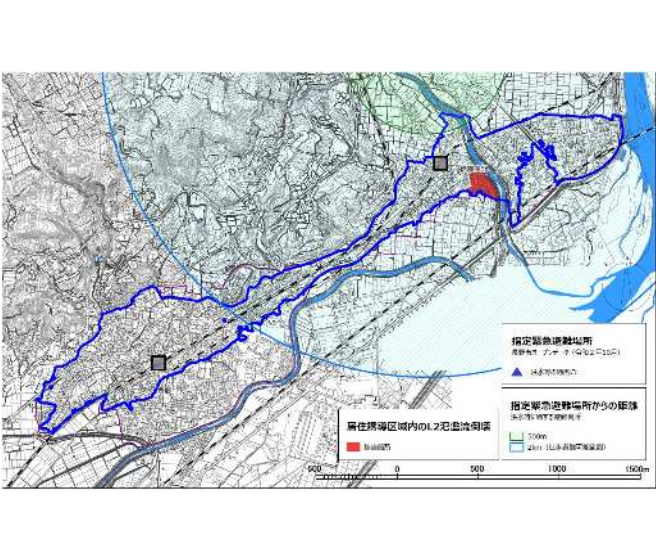
居住誘導区域縁辺部の数箇所にて、急傾斜地の崩壊のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図A・Bエリア）があり、避難に時間がかかる。

■ 松代エリア居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏

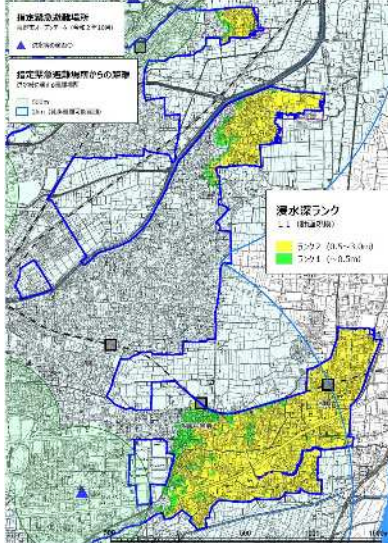
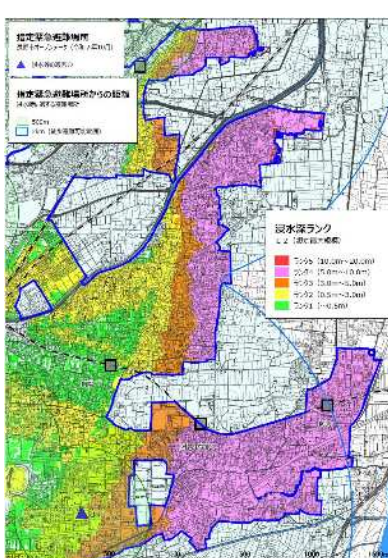



(2) 洪水浸水

①豊野駅周辺

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～3mの浸水のおそれがある。 • 3m未満の浸水のおそれがある地域において、一部2階以上の住宅棟数割合が5割未満の箇所がある。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～20mの浸水のおそれがある。 • 3階以上の建物が占める棟数割合はほとんどのエリアで1%未満である。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。 • 豊野駅周辺一帯に洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れているエリアが大部分を占める。 • 豊野駅周辺一帯に洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。

②北部・千曲川沿川

分類	リスクの状況	
<p>計画規模降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～3mの浸水のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。 • 柳原駅の東側に洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。
<p>想定最大規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～20mの浸水のおそれがある。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合が2%未満である。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。 • 柳原駅の東側に洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。 • 柳原駅の南東に洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。

③千曲川沿川・若穂

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～3mの浸水のおそれがある。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～10mの浸水のおそれがある。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合が2%未満である。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れているエリアが大部分を占める。（一部地域は最寄りの避難場所に行くために河川を超える必要がある）

④ 芹田・安茂里

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～3mの浸水のおそれがある。 • 浸水が想定されるエリアの大半が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～10mの浸水のおそれがある。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合は3%未満である。 • 浸水が想定されるエリアの大半が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。

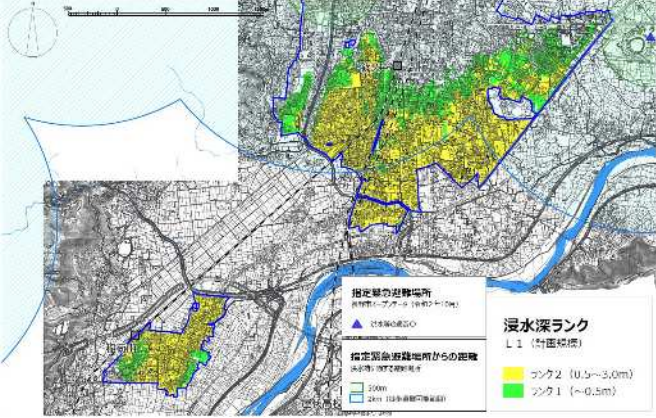
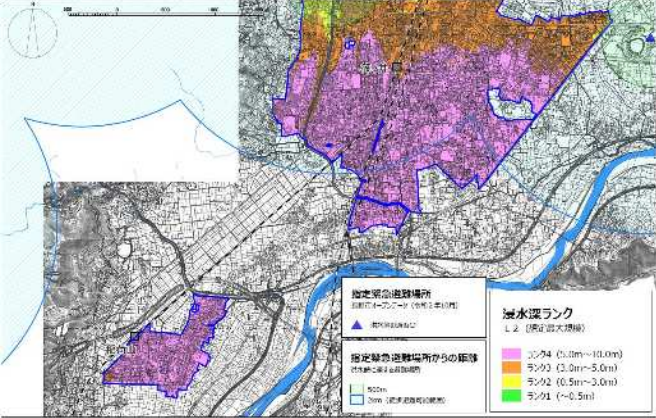

⑤川中島・更北

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0~5mの浸水のおそれがある。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合は1%~4%未満である。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0~10mの浸水のおそれがある。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。

⑥篠ノ井東部

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～5mの浸水のおそれがある。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合が1%未満である。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0.5m～10mの浸水のおそれがある。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。

⑦篠ノ井

分類	リスクの状況	
<p>計画規模 降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～5mの浸水のおそれがある。 • 3m未満の浸水のおそれがある地域の一部において、2階以上の住宅が占める棟数割合が5割未満である。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合が1%未満である。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大 規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～10mの浸水のおそれがある。 • 浸水が想定されるエリアの大部分が、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 一部洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）の徒歩避難可能範囲外のエリアが存在する。

⑧松代

分類	リスクの状況	
<p>計画規模降雨 (L1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • おおむね100年に1回程度起こる大雨時に0～10mの浸水のおそれがある。 • 3m未満の浸水のおそれがある地域において、2階以上の住宅が占める棟数割合が5割未満である。 • 3m以上の浸水のおそれがある地域において、3階以上の建物が占める割合はほとんどのエリアで1%未満である。 • 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>想定最大規模降雨 (L2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1000年に1回程度の降雨時に0～10mの浸水のおそれがある。 • 地域の南部を除き、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。
<p>氾濫流による 建物倒壊等 指定箇所</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 左記赤塗エリアにおいて、1000年に1回程度の降雨時に氾濫流による建物倒壊のおそれがある。 • 地域の南部を除き、洪水時に避難可能な指定緊急避難場所（洪水の適否○）から離れている。

4 防災まちづくりの取組み方針

(1) 土砂災害

○長野市市街化区域全体での取組み

(記載内容整理中)

○リスク別対象エリアにおける取組み

①豊野駅周辺

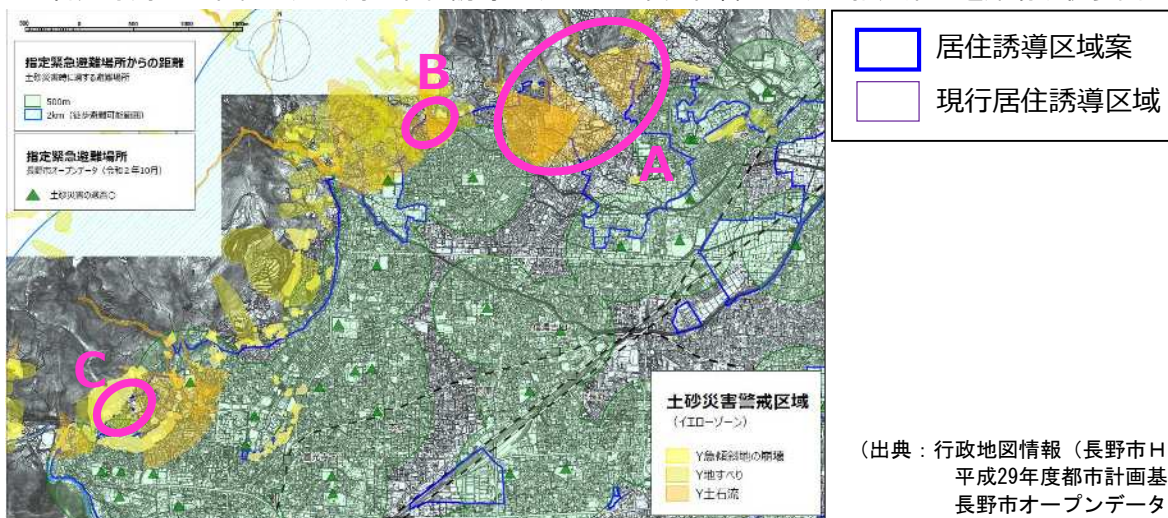
■豊野駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



課題のある箇所	リスクの状況 (右列はエリア共通)		対応方針	主な取組内容
A	・急傾斜地の崩壊のおそれがある。	・土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所(土砂災害の適否○)から離れている	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 情報の周知に関する取組 ⇒ 避難確保計画に関する取組 ⇒ 被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
B	・土石流の発生および急傾斜地の崩壊のおそれがある。		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 情報の周知に関する取組 ⇒ 避難確保計画に関する取組 ⇒ 被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
上記以外のイエローゾーン			<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 情報の周知に関する取組 ⇒ 被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組

② 善光寺周辺～若槻・浅川周辺

■ 善光寺周辺～若槻・浅川周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



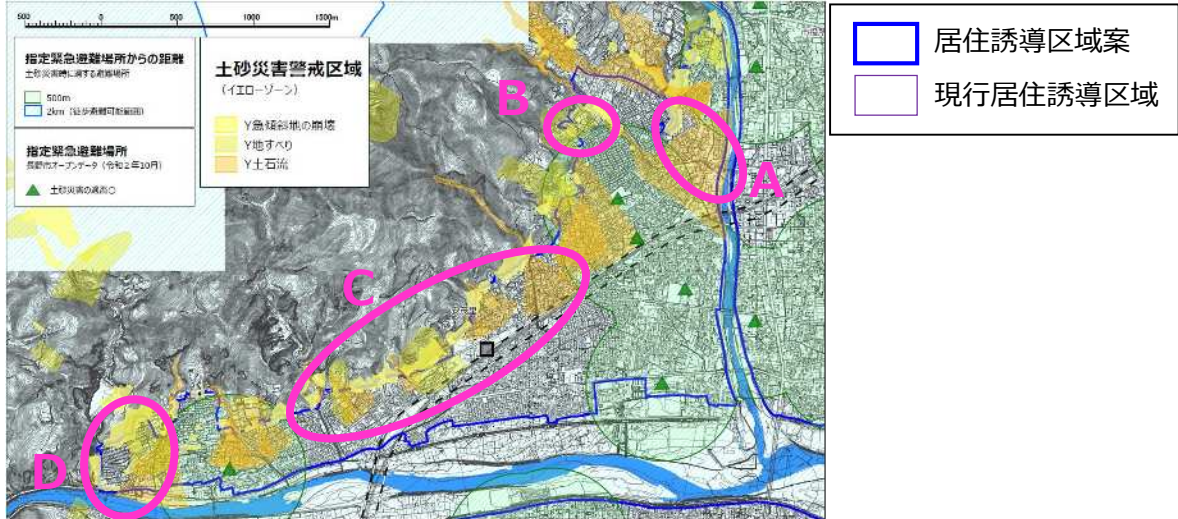
(出典：行政地図情報(長野市HPより)、平成29年度都市計画基礎調査 長野市オープンデータより作成)

課題のある箇所	リスクの状況 (右列はエリア共通)		対応方針	主な取組内容
A	・土石流の発生のおそれがある。	・土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所(土砂災害の適否○)から離れている。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
B	・土石流の発生および地すべりのおそれがある。		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
C	・土石流の発生および地すべりのおそれがある。		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
上記以外のイエローゾーン			<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策(事前対策) ▶ 土砂災害対策(ハード) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組

③ 安茂里駅周辺

広範囲にわたって、土石流と地すべりの発生および急傾斜地の崩壊のおそれのある箇所があり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否〇）から離れた箇所（下図A～Dエリア）があり、避難に時間がかかる。

■ 安茂里駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



(出典：行政地図情報（長野市HPより）、平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成)

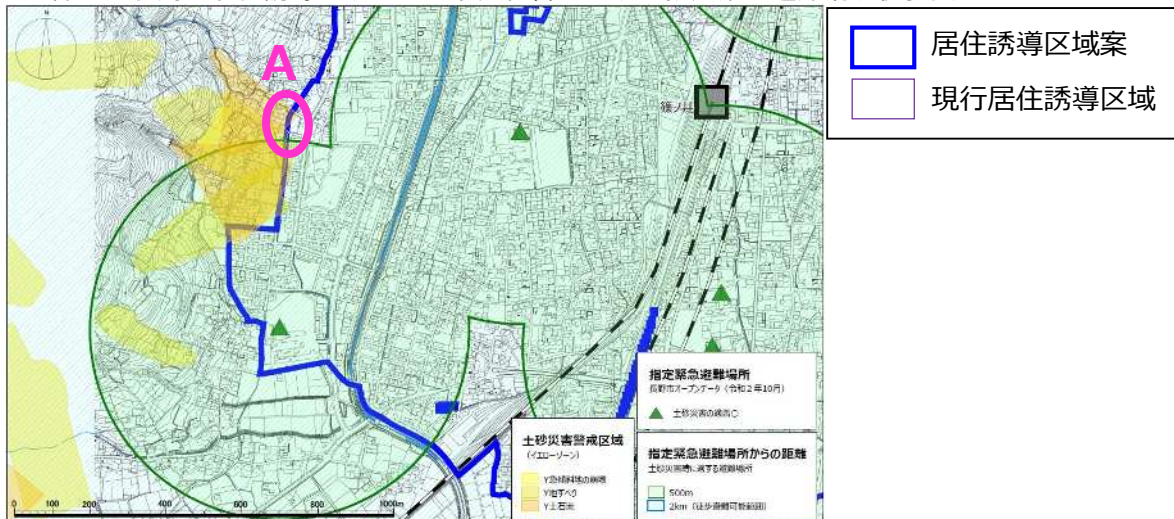
課題のある箇所	リスクの状況 (右列はエリア共通)	対応方針	主な取組内容
A	・急傾斜地の崩壊のおそれがある。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策（ハード） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
B	・土石流の発生および急傾斜地の崩壊のおそれがある。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策（ハード） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
C	・広範囲にわたって土石流の発生、急傾斜地の崩壊および地すべりの全てのおそれがある。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策（ハード） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
D	・土石流の発生、急傾斜地の崩壊お	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組

	よび地すべりの全てのおそれがある。		▶ 土砂災害対策 (ハード)	る取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
上記以外のイエローゾーン			▶ リスク回避の対策 (事前対策) ▶ 土砂災害対策 (ハード)	⇒情報の周知に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組

④ 篠ノ井駅周辺（西口）

居住誘導区域縁辺部のわずかなエリアにて、土石流と地すべりの発生のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図Aエリア）があり、避難に時間がかかる。。

■ 篠ノ井駅周辺居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



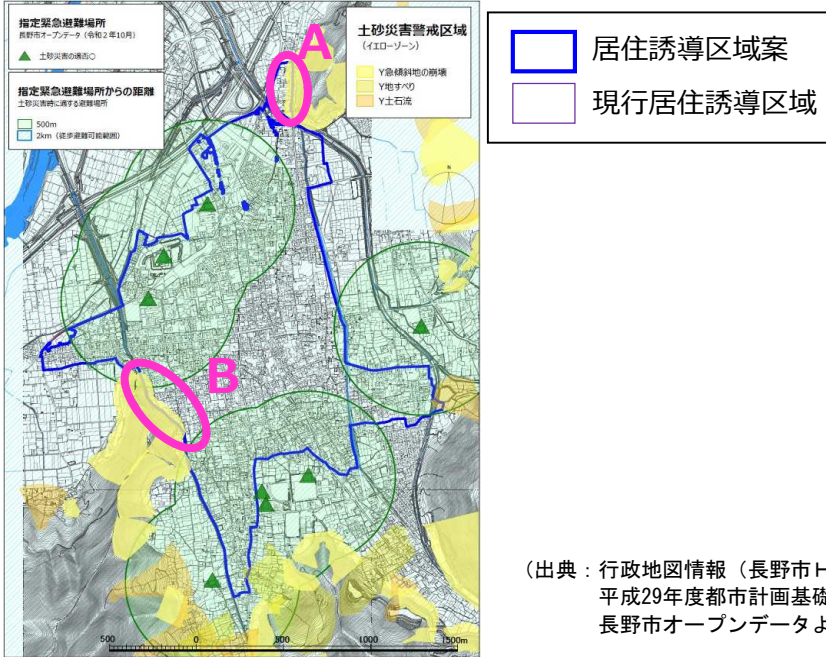
(出典：行政地図情報（長野市HPより）、平成29年度都市計画基礎調査
長野市オープンデータより作成)

課題のある箇所	リスクの状況	対応方針	主な取組内容
A	<ul style="list-style-type: none"> 土石流の発生および地すべりのおそれがある。 土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策（ハード） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
上記以外のイエローゾーン		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスク回避の対策（事前対策） ▶ 避難に関する対策 ▶ 土砂災害対策（ハード） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒情報の周知に関する取組 ⇒避難確保計画に関する取組 ⇒被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組

⑤ 松代

居住誘導区域縁辺部の数箇所にて、急傾斜地の崩壊のおそれがあり、かつ土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れた箇所（下図A・Bエリア）があり、避難に時間がかかる。

■ 松代エリア居住誘導区域内の土砂災害警戒区域と指定緊急避難場所徒歩圏



(出典：行政地図情報（長野市HPより）、平成29年度都市計画基礎調査、長野市オープンデータより作成)

課題のある箇所	リスクの状況 (右列はエリア共通)		対応方針	主な取組内容
A	・急傾斜地の崩壊のおそれがある。	・土砂災害の危険がある時に避難できる指定緊急避難場所（土砂災害の適否○）から離れている。	▶ リスク回避の対策（事前対策）	⇒ 情報の周知に関する取組
B			▶ 避難に関する対策	⇒ 避難確保計画に関する取組
			▶ 土砂災害対策（ハード）	⇒ 被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組
上記以外のイエローゾーン			▶ リスク回避の対策（事前対策）	⇒ 情報の周知に関する取組
			▶ 避難に関する対策	⇒ 避難確保計画に関する取組
			▶ 土砂災害対策（ハード）	⇒ 被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組

(2) 洪水浸水

○長野市市街化区域全体での取組み

①リスク回避の対策（事前対策）…情報の周知に関する取組

- ・ CCTVカメラ、水位計や量水標、危機管理型水位計などの設置
- ・ リアルタイムの情報提供などによる防災情報の充実（SNSやアプリなど）
- ・ 洪水ハザードマップの作成配布
- ・ 内水ハザードマップの作成
- ・ 地区防災マップの作成支援
- ・ 洪水予報河川（千曲川、裾花川等）の予測システムの改修

②避難に関する対策…避難確保計画に関する取組

- ・ 要配慮者利用施設の避難計画作成支援

③防災意識向上に繋がる対策…防災教育、防災の知識の普及に関する取組

- ・ 不動産関係者への水害リスク情報の提供
- ・ 自主防災組織の結成促進
- ・ 自主防災組織による防災訓練の支援
- ・ 地域特性に配慮した「地区防災マップ」の作成支援

④治水対策（ハード）…被害の軽減に繋がる治水対策に関する取組



- ・ 被災施設の復旧
- ・ 堤防・護岸の強化や河道掘削等による河川整備（千曲川）
- ・ 遊水池の整備による洪水調節施設の整備
- ・ 排水機場の整備
- ・ 雨水幹線の整備
- ・ 雨水貯留施設の設置促進
- ・ ダム等の事前放流による洪水調節機能の向上、確保

○リスク別対象エリアにおける取組み

①豊野駅周辺

■計画規模降雨（L1）

境界凡例

 現行居住誘導区域
 (見直し案) 居住誘導区域

《エリア特性》

- 想定浸水深0.5m以上3m未満
- ※垂直避難可能

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

《エリア特性》

- 想定浸水深0.5m以上3m未満
- 2階建以上の住宅棟数割合が**5割未満**
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

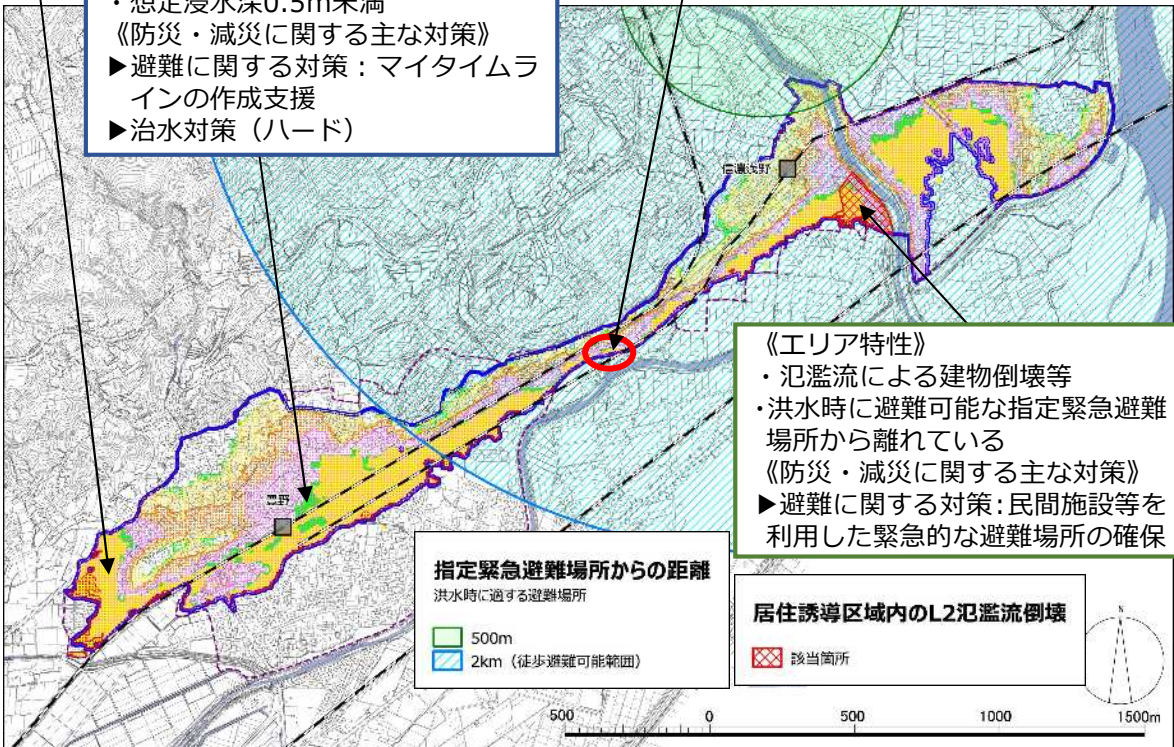
《エリア特性》

- 想定浸水深0.5m未満

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

▶治水対策（ハード）



《エリア特性》

- 氾濫流による建物倒壊等
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

■想定最大規模降雨（L2）

《エリア特性》

- 想定浸水深0.5m未満（又は）
- 想定浸水深0.5m以上3m未満
- ※垂直避難可能

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

居住誘導区域内
浸水深ランク
L1（計画規模）

-  ランク2（0.5～3.0m）
-  ランク1（～0.5m）

居住誘導区域内
浸水深ランク
L2（想定最大規模）

-  ランク5（10.0m～20.0m）
-  ランク4（5.0m～10.0m）
-  ランク3（3.0m～5.0m）
-  ランク2（0.5m～3.0m）
-  ランク1（～0.5m）

《エリア特性》

- 想定浸水深10m以上20m未満
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**

《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》

- 想定浸水深3m以上5m未満（又は）
- 想定浸水深5m以上10m未満
- 3階建以上の建物棟数割合が**1%未満**
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
- 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**

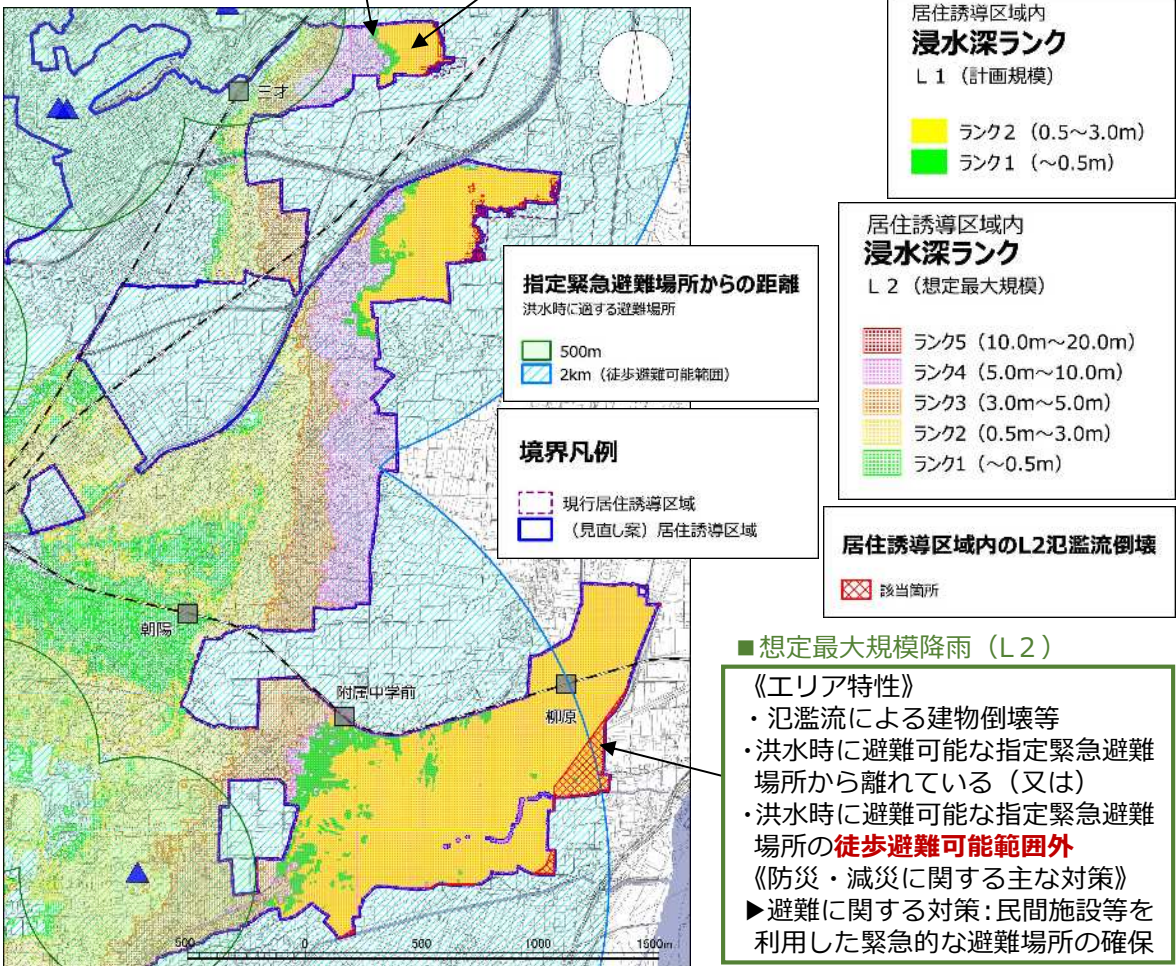
《防災・減災に関する主な対策》

▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

②北部・千曲川沿川

■計画規模降雨（L1）

<p>《エリア特性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定浸水深0.5m未満 <p>《防災・減災に関する主な対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援 ▶治水対策（ハード） 	<p>《エリア特性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定浸水深0.5m以上3m未満 <p>※垂直避難可能</p> <p>《防災・減災に関する主な対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
--	---



■想定最大規模降雨（L2）

《エリア特性》

- ・氾濫流による建物倒壊等
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**

《防災・減災に関する主な対策》

- ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》

- ・想定浸水深0.5m未満（又は）
- ・想定浸水深0.5m以上3m未満

※垂直避難可能

《防災・減災に関する主な対策》

- ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

《エリア特性》

- ・想定浸水深3m以上5m未満
- ・3階建以上の建物棟数割合が**2%未満**
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている

《防災・減災に関する主な対策》

- ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》

- ・想定浸水深10m以上20m未満
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**

《防災・減災に関する主な対策》

- ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》

- ・想定浸水深5m以上10m未満
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
- ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**

《防災・減災に関する主な対策》

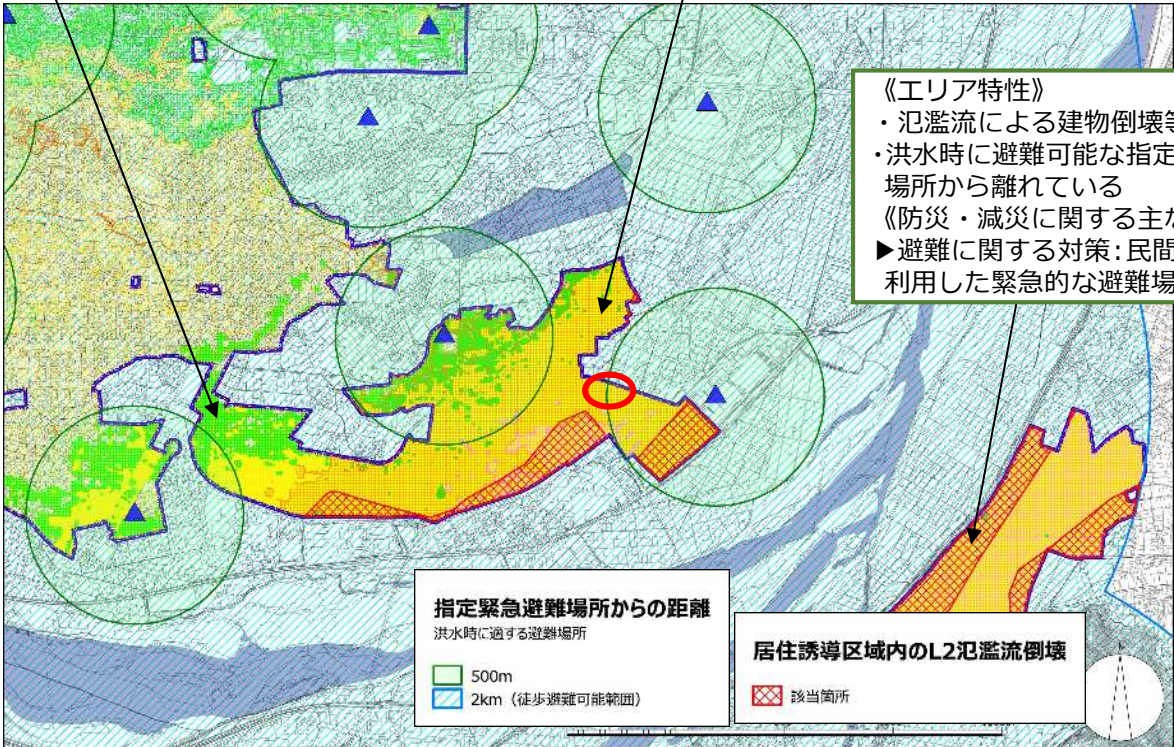
- ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

③千曲川沿川・若穂

■計画規模降雨（L1）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
 ▶治水対策（ハード）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援



《エリア特性》
 ・氾濫流による建物倒壊等
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

指定緊急避難場所からの距離
 洪水時に適する避難場所
 500m
 2km（徒歩避難可能範囲）

居住誘導区域内のL2氾濫流倒壊
 該当箇所

■想定最大規模降雨（L2）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満（又は）
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

居住誘導区域内
浸水深ランク
 L1（計画規模）
 ランク2（0.5～3.0m）
 ランク1（～0.5m）

居住誘導区域内
浸水深ランク
 L2（想定最大規模）
 ランク4（5.0m～10.0m）
 ランク3（3.0m～5.0m）
 ランク2（0.5m～3.0m）
 ランク1（～0.5m）

《エリア特性》
 ・想定浸水深3m以上5m未満（又は）
 ・想定浸水深5m以上10m未満
 ・3階建以上の建物棟数割合が**2%未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

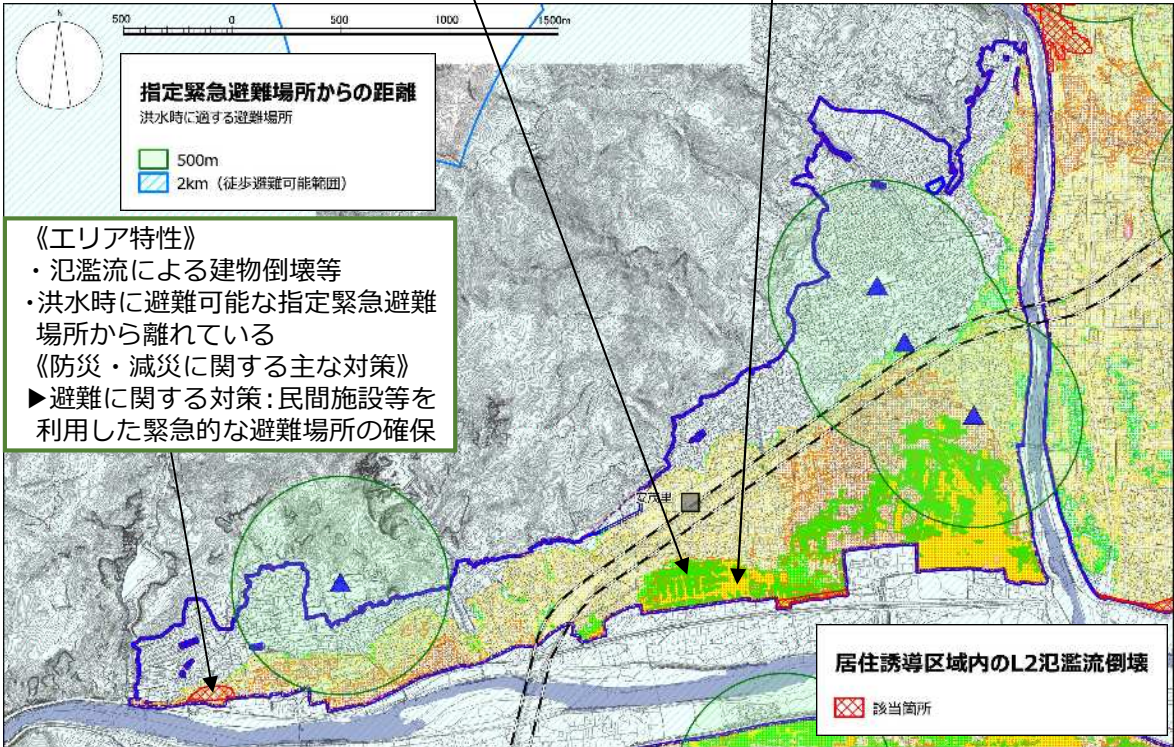
境界凡例
 現行居住誘導区域
 （見直し案）居住誘導区域

④ 芹田・安茂里

■ 計画規模降雨 (L1)

《エリア特性》
 ・ 想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶ 避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
 ▶ 治水対策 (ハード)

《エリア特性》
 ・ 想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※ 垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶ 避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援



《エリア特性》
 ・ 氾濫流による建物倒壊等
 ・ 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶ 避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

■ 想定最大規模降雨 (L2)

《エリア特性》
 ・ 想定浸水深0.5m未満 (又は)
 ・ 想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※ 垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶ 避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

居住誘導区域内
浸水深ランク
 L1 (計画規模)
 ランク2 (0.5~3.0m)
 ランク1 (~0.5m)



居住誘導区域内
浸水深ランク
 L2 (想定最大規模)
 ランク4 (5.0m~10.0m)
 ランク3 (3.0m~5.0m)
 ランク2 (0.5m~3.0m)
 ランク1 (~0.5m)

《エリア特性》
 ・ 想定浸水深3m以上5m未満 (又は)
 ・ 想定浸水深5m以上10m未満
 ・ 3階建以上の建物棟数割合が**3%未満**
 ・ 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶ 避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

境界凡例
 〰 現行居住誘導区域
 □ (見直し案) 居住誘導区域

⑤川中島・更北

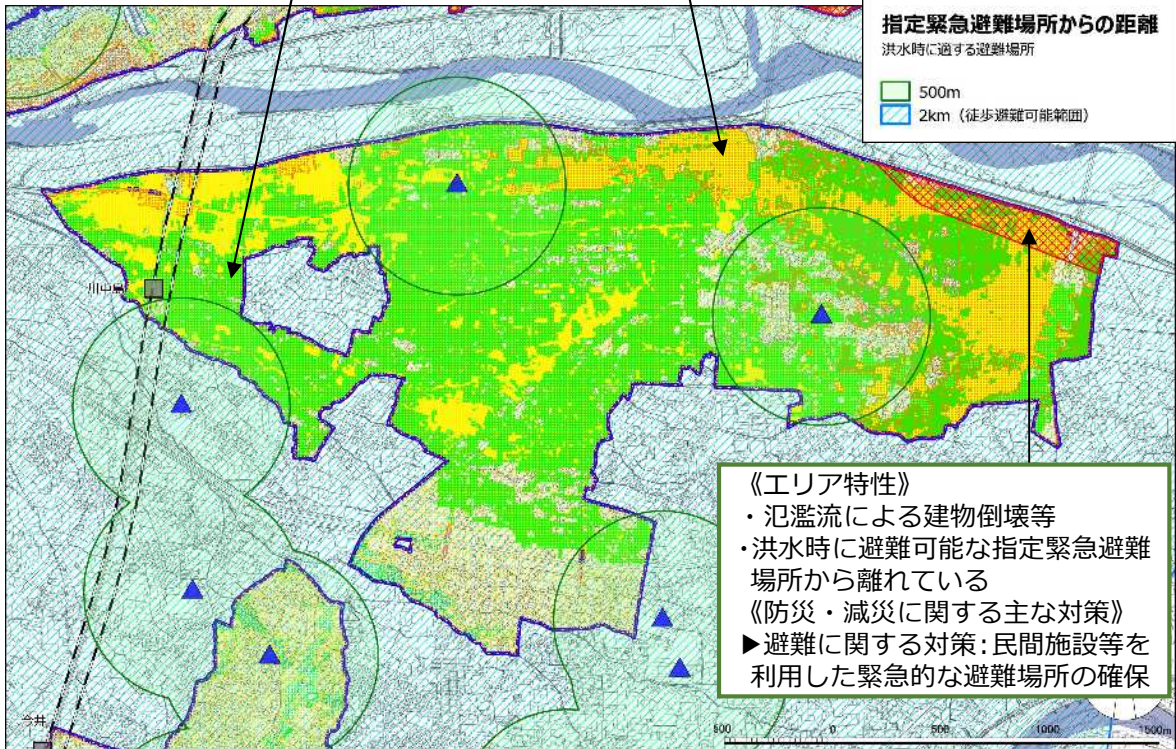
境界凡例

-  現行居住誘導区域
-  (見直し案) 居住誘導区域

■計画規模降雨 (L1)

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
 ▶治水対策 (ハード)



《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援







■想定最大規模降雨 (L2)

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満 (又は)
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ※垂直避難可能
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

居住誘導区域内
浸水深ランク
L1 (計画規模)

-  ランク2 (0.5~3.0m)
-  ランク1 (~0.5m)

居住誘導区域内
浸水深ランク
L2 (想定最大規模)

-  ランク4 (5.0m~10.0m)
-  ランク3 (3.0m~5.0m)
-  ランク2 (0.5m~3.0m)
-  ランク1 (~0.5m)

居住誘導区域内のL2氾濫流倒壊

-  該当箇所

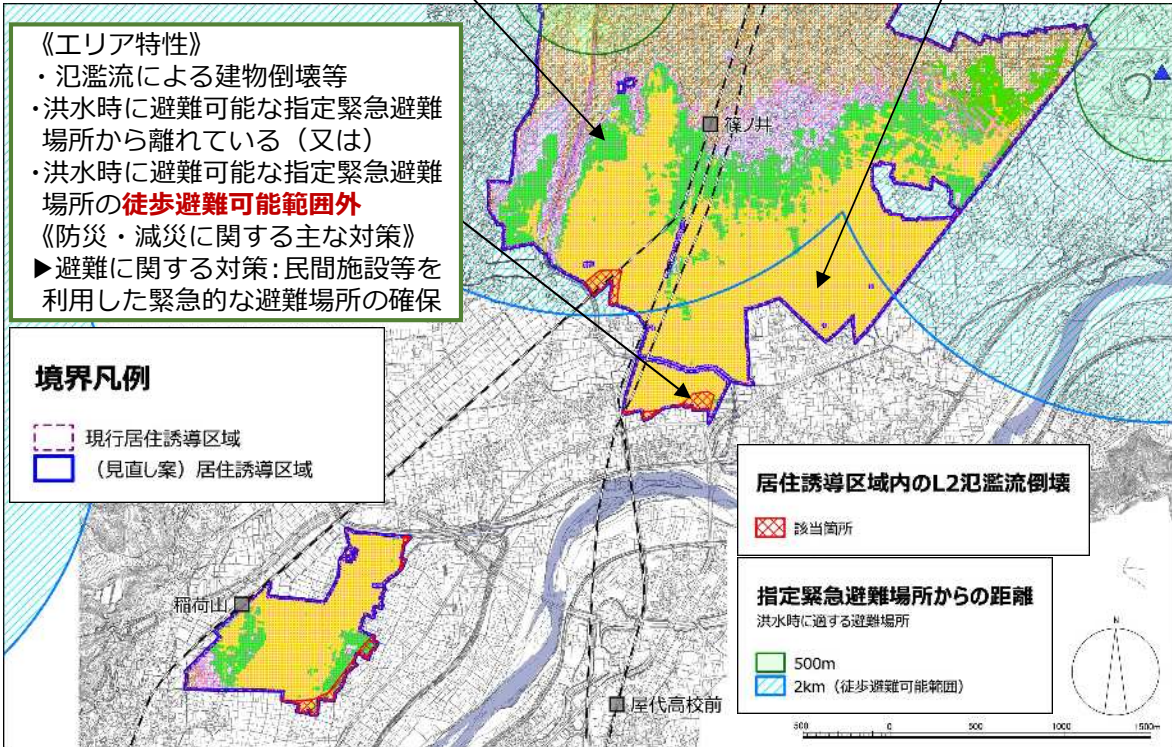
《エリア特性》
 ・想定浸水深3m以上5m未満 (又は)
 ・想定浸水深5m以上10m未満
 ・3階建以上の建物棟数割合が**4%未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

⑦篠ノ井

■計画規模降雨（L1）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
 ▶治水対策（ハード）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ・2階建以上の住宅棟数割合が**5割未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保



《エリア特性》
 ・氾濫流による建物倒壊等
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

境界凡例
 〰 現行居住誘導区域
 □ (見直し案) 居住誘導区域

■想定最大規模降雨（L2）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

居住誘導区域内
浸水深ランク
 L1（計画規模）
 ■ ランク2（0.5～3.0m）
 ■ ランク1（～0.5m）

居住誘導区域内
浸水深ランク
 L2（想定最大規模）
 ■ ランク4（5.0m～10.0m）
 ■ ランク3（3.0m～5.0m）
 ■ ランク2（0.5m～3.0m）
 ■ ランク1（～0.5m）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ・2階建以上の住宅棟数割合が**5割未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

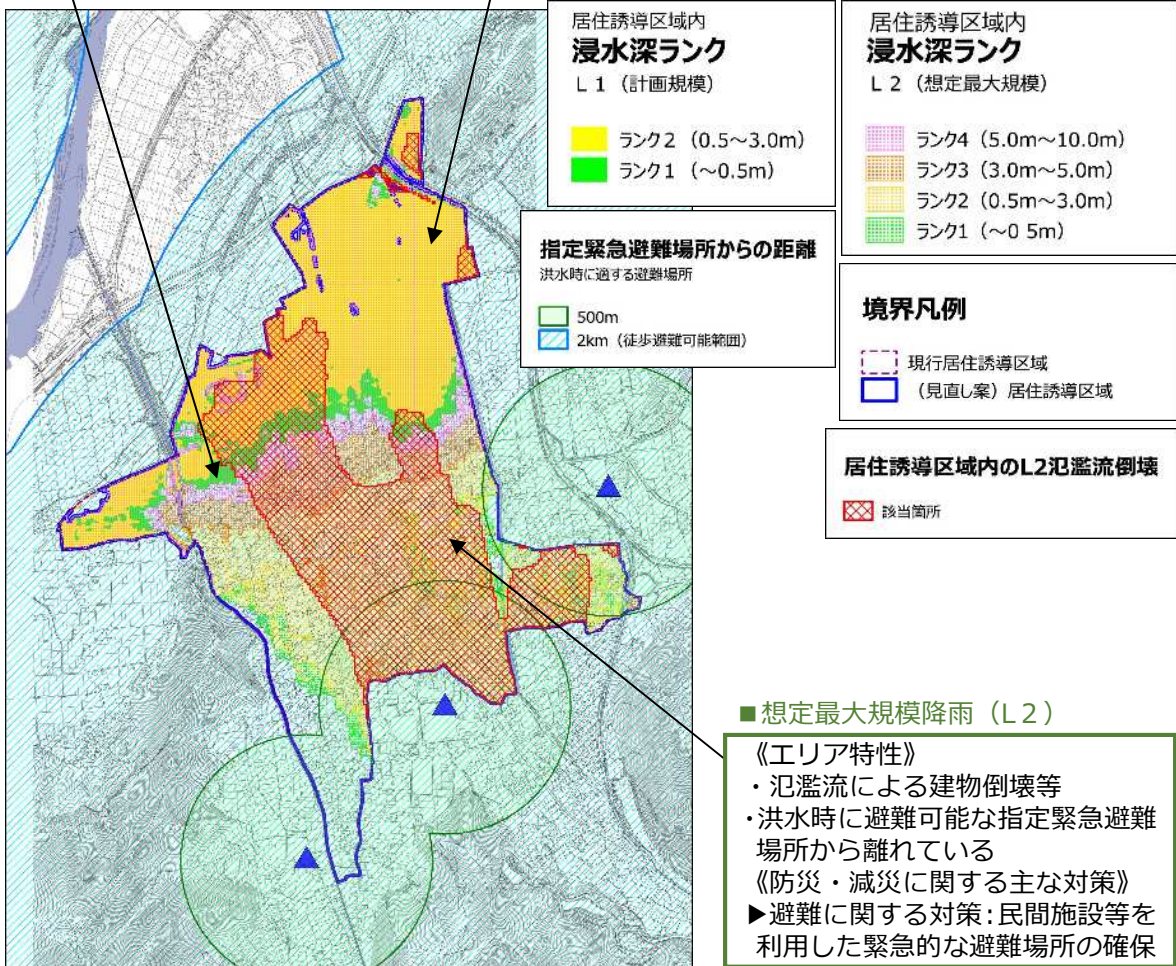
《エリア特性》
 ・想定浸水深3m以上5m未満（又は）
 ・想定浸水深5m以上10m未満
 ・3階建以上の建物棟数割合が**1%未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている（又は）
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所の**徒歩避難可能範囲外**
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

⑧松代

■計画規模降雨（L1）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援
 ▶治水対策（ハード）

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ・2階建以上の住宅棟数割合が**5割未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保



■想定最大規模降雨（L2）

《エリア特性》
 ・氾濫流による建物倒壊等
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m未満
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：マイタイムラインの作成支援

《エリア特性》
 ・想定浸水深3m以上5m未満
 ・3階建以上の建物棟数割合が**1%未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保











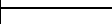

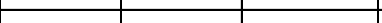
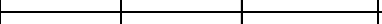
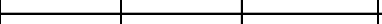








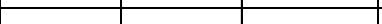
《エリア特性》
 ・想定浸水深0.5m以上3m未満
 ・2階建以上の住宅棟数割合が**5割未満**
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

《エリア特性》
 ・想定浸水深5m以上10m未満
 ・洪水時に避難可能な指定緊急避難場所から離れている
 《防災・減災に関する主な対策》
 ▶避難に関する対策：民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保

5 防災まちづくりの具体的な取組み・実施体制・スケジュール

本市の防災・減災に関する取組みについて、国・県とも連携しながら市域全体で施策を展開するハード整備とソフト対策の取組とスケジュールを示す。

防災・減災に関する取組調査表  継続実施しているもの

取組方針と対策の分類	主な取組内容	具体的な内容	状況	主体	目標年度			特記事項
					短期	中期	長期	
リスク回避の対策 (事前対策)	情報の周知に関する取組	CCTVカメラ、水位計や量水標、危機管理型水位計などの設置	実施中	国・県				※1
		リアルタイムの情報提供などによる防災情報の充実(SNSやアプリなど)	実施中	国・県・市				※2
		洪水ハザードマップの作成配布	実施中	市				※3
		内水ハザードマップの作成	実施中	県				※4
		地区防災マップの作成支援	実施中	県、市				※5
		洪水予報河川(千曲川、裾花川等)の予測システムの改修	検討中	県				
避難に関する対策	避難確保計画に関する取組	要配慮者利用施設の避難計画作成支援	実施中	国、県、市				
		道の駅の防災拠点化	実施中	県				
		民間施設等を利用した緊急な避難場所の確保	実施中	国、市				※6
		マイタイムラインの作成支援	実施中	国、県、市				
防災意識向上に繋がる対策	防災教育、防災の知識の普及に関する取組	不動産関係者への水害リスク情報の提供	実施中	国、県、市				
		自主防災組織の結成促進	実施中	市				
		自主防災組織による防災訓練の支援	実施中	市				
		地域特性に配慮した「地区防災マップ」の作成支援	実施中	県、市				
		土砂災害に関する行動計画作成及び防災訓練の支援	実施中	県				
治水対策 (ハード)	被害の軽減に繋がる治水対策に関する取組	被災施設の復旧	実施中	国、県				※7
		堤防・護岸の強化や河道掘削等による河川整備(千曲川)	実施中	国、県				
		遊水池の整備による洪水調節施設の整備	実施中	国、県				
		排水機場の整備	実施中	県、市				※8
		雨水幹線の整備	実施中	市				※9
		雨水貯留施設の設置促進	実施中	県、市				※10
		ダム等の事前放流による洪水調節機能の向上、確保	実施中	県				
土砂災害対策 (ハード)	被害の軽減に繋がる土砂災害対策に関する取組	地すべり防止区域での対策、維持管理	実施中	県、市				
		急傾斜地等整備事業の普及促進	実施中	市				

【特記事項詳細】

- ※1：避難活動や水防活動を円滑とするため
- ※2：河川砂防情報ステーション、長野市防災ナビなど
- ※3：全戸配布済
- ※4：令和4年度作成予定
- ※5：地域特性に応じて作成を支援
- ※6：協定を支援する
- ※7：信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- ※8：内水対策
- ※9：公共下水道（雨水）事業計画（内水対策）
- ※10：公共施設、民間開発整備による雨水流出抑制